

ひまわり



令和4年9月5日(月)

六つの精進（しょうじん）

（株）京セラの創業者、稻森和夫氏の訃報が届きました。「京セラ（1959年に（株）京都セラミックとして創業）」と言えば、皆さんにとっては、まず京セラドームが思いつくのではないでしょうか。セラミックとは、狭い意味では焼き物（陶磁器）のことですが、京セラが扱うのはファインセラミックというものです。これは、スマホなど、さまざまな電子機器の部品にも使われており、電子機器製造にはなくてはならないものです。ファインセラミックはハイテクにも使われていますが、包丁やハサミ、人工歯など、日常生活の身近な製品の素材としても使われています。

ところで、稻森氏は一代で、町工場を売り上げ高1兆円を超える世界的企業に育てあげました。その原点となったのが「心の経営」でした。稻森氏の考え方方に「人生の方程式」があります。これは「人生の結果＝熱意×能力×考え方」というものです。

熱意と能力は<0～100点>まで、考え方は<-100～100点>までの範囲とします。つまり、いくら熱意や能力があっても、考え方方が間違っていては、人生の結果は出ないどころか、結果は大きなマイナスとなる場合もあるのです。

また、稻森氏が大切にした考え方の一つに、「六つの精進」があります。次に示しますので、皆さんの生活と照らし合わせてください。

1 誰にも負けない努力をする

人それぞれに得意なこと、不得意なことがあるものです。しかし、努力することは誰にでもできます。努力できない言い訳を探していませんか。

2 謙虚にして奢（おご）らず

中国の古典である易經（えききょう）に、「ただ謙のみ福を受く」という言葉があります。この世は善因善果・因果応報であり、謙虚な心や態度が幸福を呼ぶのです。

3 反省ある日々を送る

「人を不愉快にさせなかったか」「親切だったか」「卑怯ではなかったか」「利己的ではなかったか」など、人として正しく生きているでしょうか。

4 生きていることに感謝する

人生をされています。生かされているのは、天命や使命があるからです。生きていることに感謝し、与えられた命を、世のため人のために使いたいものです。

5 善行・利他行を積む

善なる思いを持ち、世のため人のために利益をもたらす行いが大切です。このような行いが、やがて自分に返ってくるのです。

6 感性的な悩みはしない

いつまでも心配したり、くよくよしたり、不平ばかりでは前進できません。明るく、元気で、素直に全力で取り組みましょう。「明元素（めいげんそ）」でいきましょう。

このように考え行動できれば、さまざまなことがうまく回り始めるのでしょうか。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

